

5つの重点施策

子どもの幸せのために

保育園、学童保育所の新設・建て替えによる定員増や、定期利用保育、サマー学童の拡充を行います。また、新たに5歳児相談を実施し、途切れ・すき間のない発達支援を推進します。寡婦(夫)控除のみなし適用も実施。中学校では学力向上に向け、全校に学習指導支援員を配置します。

ごみ減量とリサイクル

家庭ごみ戸別収集・有料化の安定のため、高齢者へのごみ出し支援、不法投棄パトロールなどを行います。店舗や企業のごみは分別指導等により減量を推進。ごみ処理基本計画の改定を行います。清掃工場の移転に向けて、周辺住民の方々に丁寧に説明を進めます。

行財政改革

公立保育園の民営化推進や児童館・泉市民体育館へ指定管理者制度を導入し、民間の力を活用します。さらに、市ホームページをリニューアルし、動画配信をはじめ、情報提供を積極的に行っていきます。小・中学校ホームページも刷新します。職員の定数の適正化にも継続して取り組みます。

にぎわいの創出と安全・安心のまちづくり

地域が行うまちづくりの支援や、南口のデッキをはじめとした立川駅前の整備を行います。また、駅周辺のパトロールなどを行います。防災対策として災害時に支援を要する方の支援体制確立を進め、災害時に重要となる道路沿いの建築物耐震化を促進します。

公共施設のあり方の検討

保全計画に基づき一小的建て替えや九小の大規模改修など小・中学校の施設改修を行います。また、今後の公共施設の有効活用について検討を行います。さらに市営住宅改修工事や道路・橋・下水道などのライフラインの長寿命化を図ります。

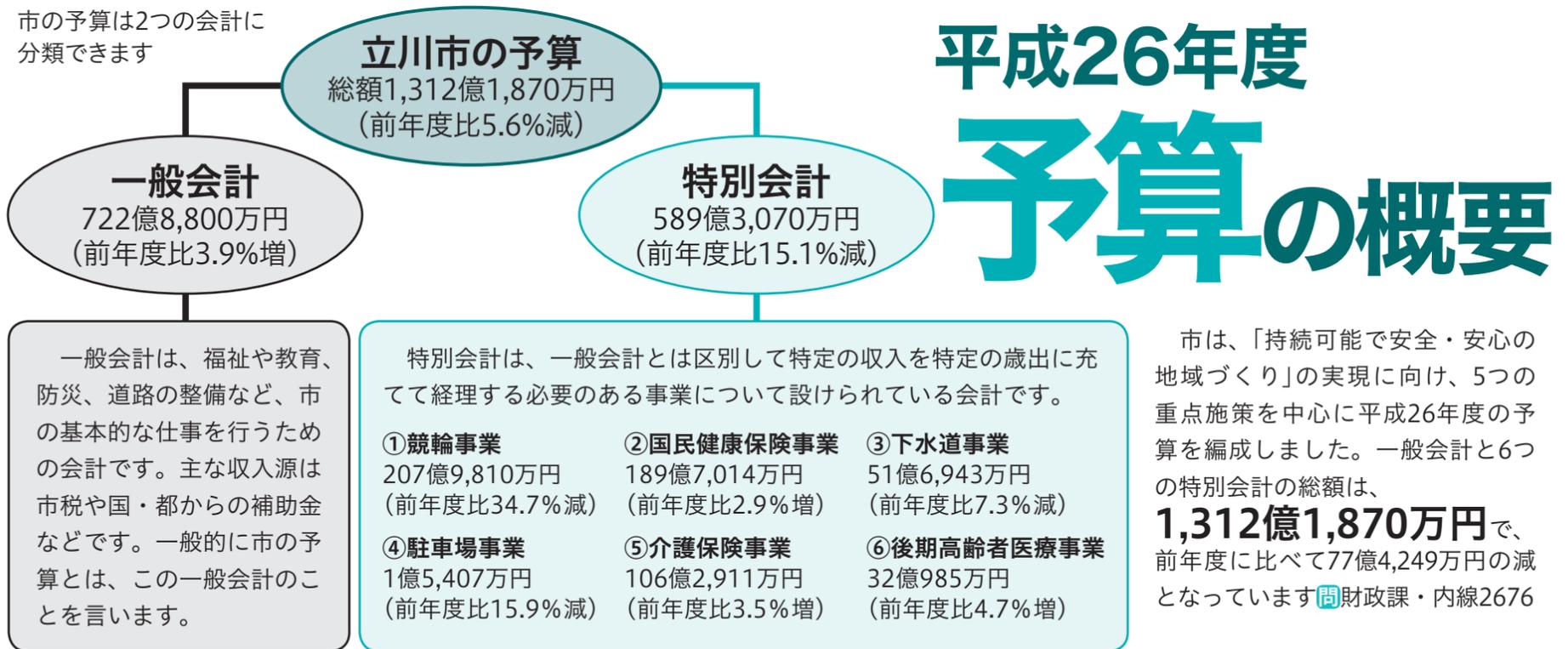
次の施策にも力点をおいて取り組みます

立川市の平成27年度から10年間のまちづくりの羅針盤となる第4次長期総合計画の策定を進めます。また、職員の人材育成とコンプライアンスの推進に取り組みます。子どものための初期救急平日準夜間診療室の開設や、糖尿病重症化予防指導にも取り組みます。

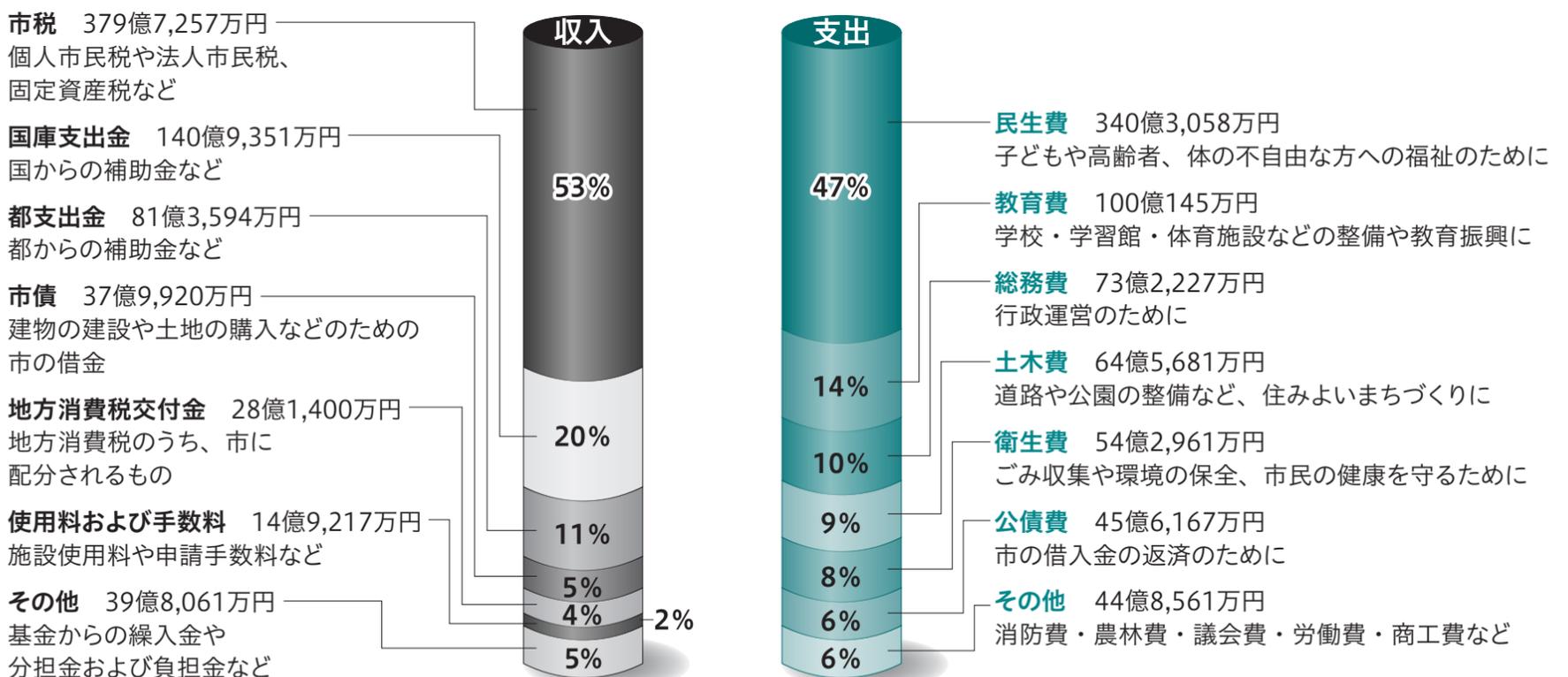
平成26年度は約9億7,000万円を確保

行財政改革の成果として、平成26年度は約9億7,000万円の財源を確保しました。主な内容として、職員の退職手当等を見直し、約3,800万円を削減。羽衣・富士見児童館や泉市民体育館への指定管理者制度の導入、見影橋保育園の民営化等により約4億4,500万円を削減。

市の予算は2つの会計に分類できます



一般会計722億8,800万円はこのようになっています



市民満足度調査を、無作為抽出した2500人へ送付しました。ご協力をお願いします。☎行政経営課・内線2703